

高校日本史プリント (過去問類似)

近世 No.6

名前

得点

/10

問1 江戸時代初期の寛永期には、茶の湯の流行を背景に、簡素で洗練された美しさを持つ数寄屋造の建築様式が発達した。八条宮家の別邸として造営され、庭園と建物が調和したこの様式の代表例とされる建築物は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 桂離宮 2. 二条城 3. 萬福寺 4. 姫路城

問2 1837年にアメリカの商船が渡来した際、幕府が異国船打払令を適用して砲撃した事件が起きた。この幕府の対応を批判し、江戸湾の防備の不備を指摘して『慎機論』を執筆したものの、のちに蛮社の獄で処罰された人物は誰か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 高野長英 2. 杉田玄白 3. 前野良沢 4. 渡辺崋山

問3 明確な境界で区切られた領土に対して排他的な支配権をもち、外部からの干渉を受けない独立した国々が、互いに対等な存在として認め合うことで成立した、近代ヨーロッパ起源の国際秩序を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 主権国家体制 2. 帝国主義体制 3. 勢力均衡体制 4. 国際協調体制

問4 江戸時代の農村などで広く組織された共同組織のうち、十干十二支の特定の日に、体内の虫が抜け出して天帝に個人の罪を告げるのを防ぐため、人々が集まって夜を徹して語り合い、健康や長寿を祈った信仰に基づく組織を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 大山講 2. 富士講 3. 庚申講 4. 伊勢講

問5 1828年、オランダ商館医として来日していたドイツ人医師が帰国する際、幕府の書物奉行であった高橋景保から贈られた日本地図など、国外持ち出し禁止の品々を所持していたことが発覚し、関係者が処罰され、本人が国外追放処分となった事件を何というか。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. タイオワン事件 2. モリソン号事件 3. シーボルト事件 4. ゴローニン事件

問6 江戸時代初期、マカオを拠点として日本に来航し、中国産の生糸などを持ち込んで莫大な利益を上げていたが、キリスト教の布教を警戒した幕府によって1639年に来航を禁止された、ヨーロッパの商人は何と呼ばれるか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. オランダ商人 2. ポルトガル商人 3. イギリス商人 4. イスパニア商人

問7 16世紀末、ヨーロッパから金属活字を用いた印刷技術が日本に伝わった。これにより、宣教師らによってローマ字を用いた宗教書や日本語辞書、さらには『平家物語』などの日本の古典が印刷・出版された。これらの書籍を何と呼ぶか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. キリシタン版 2. 駿河版 3. 嵯峨本 4. 伏見版

問8 江戸時代後期の化政文化期において、十返舎一九が著した『東海道中膝栗毛』に代表される、庶民の日常生活や旅の様子を滑稽かつ写實的に描いた小説のジャンルを何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 滑稽本 2. 人情本 3. 洒落本 4. 黄表紙

問9 江戸時代、薩摩藩の支配下に置かれながらも、中国（明・清）との朝貢関係を維持することを認められ、薩摩藩が中国の品物などを入手して日本国内に独占的に売り出すための窓口となった、独自の文化を持つ王国の名称として最も適当なものを答えよ。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 李氏朝鮮 2. 琉球王国 3. 朝鮮王朝 4. 大清帝国

問10 19世紀初頭の文化年間に、ナポレオン戦争の影響下にあったヨーロッパの情勢を背景として、イギリスの軍艦がオランダ船を拿捕する目的で長崎に不法侵入し、薪水を要求した事件は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. モリソン号事件 2. サン・フェリペ号事件 3. フェートン号事件 4. ポサドニック号事件

答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 1 桂離宮	寛永期には、茶の湯の流行を反映して、書院造に草庵風の茶室の意匠を取り入れた数寄屋造と呼ばれる建築様式が登場した。八条宮家の別邸として京都に造営された桂離宮は、簡素ながらも洗練された美しさを持ち、数寄屋造の代表的な遺構として知られる。一方、幕府の権威を示す日光東照宮などは、絢爛豪華な権現造で建てられた。
問2	答え 4 渡辺崋山	モリソン号事件における幕府の異国船打払令による対応を批判し、江戸湾の防備の必要性を説いた『慎機論』を執筆したのは渡辺崋山である。彼は高野長英らとともに蚕社の獄で処罰された。寛政期に『海国兵談』を著して処罰された林子平などと区別する必要がある。
問3	答え 1 主権国家体制	近代ヨーロッパにおいて、宗教戦争などを経て形成された国際秩序である。明確な国境線で区切られた領土に対して排他的な統治権（主権）を持つ国家が、互いに独立した対等な存在として認め合う。これは、中国を中心とする朝貢や冊封による上下関係を伴う東アジアの伝統的な国際秩序とは大きく異なる。
問4	答え 3 庚申講	江戸時代の農村では、村落内の結びつきを強めるため、様々な共同組織がつくられた。その中には、特定の神仏や信仰を共にする「庚申講」や「伊勢講」などの信仰組織があり、農民たちの社交や娯楽の場としても機能した。これは、十干十二支の庚申（こうしん）の日に、体内の三尸（さんし）の虫が天帝に悪事を報告するのを防ぐため、夜を徹して眠らずに過ごす信仰から生まれた共同組織である。
問5	答え 3 シーボルト事件	幕府の天文方・書物奉行であった高橋景保は、シーボルトに伊能忠敬の作成した日本地図（沿海輿地全図の縮図）を贈り、代わりに世界地図などを得た。これが発覚し、景保は投獄され、シーボルトは国外追放処分となった。
問6	答え 2 ポルトガル商人	江戸時代初期、マカオを拠点とするポルトガル商人は、日本が強く求めていた中国産の生糸（白糸）を輸入して巨額の利益を得ていた。しかし、幕府はキリスト教の禁教政策を徹底するため、1639年にポルトガル船の来航を全面的に禁止した。
問7	答え 1 キリシタン版	桃山文化の時期、南蛮貿易やキリスト教の布教に伴ってヨーロッパの文化が流入した。イエズス会宣教師らによって金属活字を用いた活版印刷機がもたらされ、ローマ字を用いた宗教書や日本語辞書、日本の古典などの書籍が出版された。これらは布教や宣教師の日本語学習に用いられた。
問8	答え 1 滑稽本	江戸時代後期の化政文化期には、庶民の娯楽として様々なジャンルの小説（戯作）が発達した。十返舎一九の『東海道中膝栗毛』や式亭三馬の『浮世風呂』などは、人々の会話や行動をユーモラスに描いた滑稽本に分類される。
問9	答え 2 琉球王国	1609年に薩摩藩の島津氏による侵攻を受け、実質的にその支配下に入った。しかし、薩摩藩は中国との貿易利益を確保するため、この国が中国の皇帝に対して朝貢を行う関係を維持させ、表向きは独立国としての体裁を保たせた。ここを通じて流入した中国の貨物は薩摩藩によって独占的に買い取られ、日本国内へと流通した。
問10	答え 3 フェートン号事件	1808年（文化5年）、イギリス軍艦フェートン号が、当時ナポレオン支配下にあったオランダの商船を捕らえる目的で、オランダ国旗を偽装して長崎港に侵入した。この事件は、長崎奉行の松平康英が責任を取って自害するなど、幕府の対外警備体制の不備を露呈させ、のちの異国船打払令へとつながる契機となった。